



放デイ0か所の町に 放デイができるまで

放デイ0か所の町に放デイができるまで

- 01 自己紹介
- 02 はじめに
- 03 御浜町の課題は？目標は？
- 04 実現に向けて
- 05 おわりに



放デイ0か所の町に放デイができるまで

01 自己紹介

02 はじめに

03 御浜町の課題は？目標は？

04 実現に向けて

05 おわりに

自己紹介

やぐま
矢熊

ひなこ
日向子

● 所属 御浜町役場 健康福祉課福祉係

R2.4より

● 担当業務 障がい、福祉医療費、
生活保護、女性相談、
各種給付金 等

● 趣味 犬全般

(愛でる、犬のものをかう、
ドッグランに行く、などなど)



放デイ0か所の町に放デイができるまで

01 自己紹介

02 **はじめに**

03 御浜町の課題は？目標は？

04 実現に向けて

05 おわりに

02 はじめに

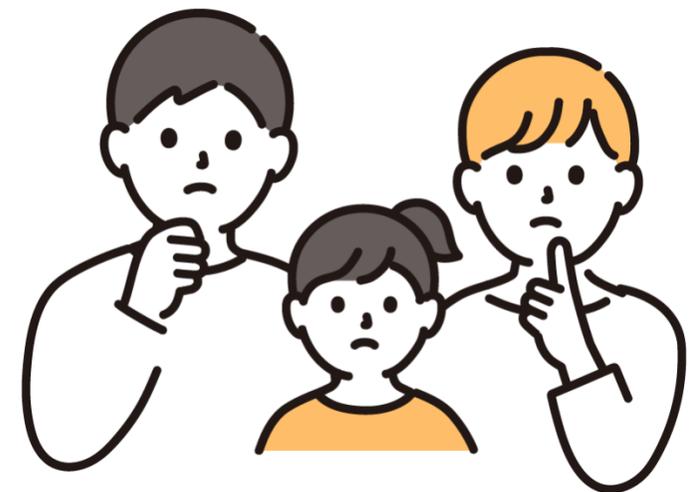
現状

- 令和6年4月より放課後等デイサービスSOLEILが開所した。
- 休園した公立保育所を活用している
- 医療的ケア児1名を含む児童15名が利用している

02 はじめに

これまでの現状

- 町内に放課後等デイサービス事業所が一か所もない
- 町内でサービスを必要としているこどもは、町外事業所または学童保育を利用している
- 医療的ケアが必要なこどもがいるが、受け入れできる事業所がない。そのことから、今後の不安を抱えているという声があった



放デイ0か所の町に放デイができるまで

- 01 自己紹介
- 02 はじめに
- 03 御浜町の課題は？目標は？**
- 04 実現に向けて
- 05 おわりに

03 御浜町の課題は？目標は？

第1期御浜町障がい者計画への反映

令和2年度「障がい」の担当になってすぐに、町の第一期障がい者計画の策定を行うことになった。策定にあたり当時の上司から言われたことは、

“担当者としての思いを入れて作ってほしい”



03 御浜町の課題は？目標は？

第1期御浜町障がい者計画への反映

担当者として課題と考えたことは、**放課後等デイサービスが町内にないこと。**

- 放課後の限られた時間に町外の事業所を利用している子どもは、必要な療育を十分に受けられていないのではないか。利用時間の多くが移動時間になっているのではないか。
- 町内に放デイがないことを理由に学童保育を利用している子どもたちも同様に、必要な療育を受けられていないのではないか。
- 学童保育の職員は、特性のある子どもへの対応に苦慮しているのではないか。

03 御浜町の課題は？目標は？

第1期御浜町障がい者計画への反映

“担当者の思い”として

今後の取り組みに「放課後等デイサービス事業の支援と確保」を掲げ、

「町内にサービスを提供する事業所がないことから、新たに身近な場所で障がいのある子どもが安心して過ごせる居場所を確保できるように努めます。」と記載した。

03 御浜町の課題は？目標は？

第6次期御浜町総合計画への反映

同年度に、令和3年度から10年間を計画期間とする、第6次御浜町総合計画を策定した。

そこにも同様に

**町内の障がい児サービス提供事業所数を
令和7年度までに1か所確保する**

という成果指標を設けた。

放デイ0か所の町に放デイができるまで

- 01 自己紹介
- 02 はじめに
- 03 御浜町の課題は？目標は？
- 04 実現に向けて**
- 05 おわりに

04 実現に向けて

01

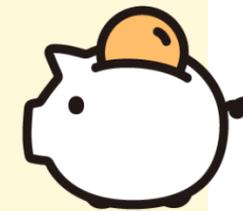
場所の 確保



休園中の保育所が令和6年4月より空き施設になるため活用

02

財源の 確保



令和5年より県の補助金
が新設されたため活用

03

事業者の 確保



令和6年4月から事業実
施が可能な事業所を募集、
選定

04 実現に向けて

1. 場所の確保

休園中の保育所を他事業者に貸していたが、令和6年4月に移転をすることが決まり空き施設となることから、当該施設を利用できることとなった



04 実現に向けて

2. 財源の確保

令和5年より新しく「**みえこども子育て応援補助金**」が新設された。

※補助率は県2/3で、新規事業を対象とするもの



- 放課後等デイサービス新設に向けての準備事業を申請し、財源を確保した。
- 令和5年度の町の当初予算には計上していなかったため、9月議会において補正予算を計上した。その際に議会への説明を行い、事業への理解を得た。
- 予算の内訳⇒外構工事費用
実施事業者への補助金
(施設内の改築費用を含めた、事業所準備のための補助金)

04 実現に向けて

3. 事業者の確保

条件を下記のとおり設け、実施事業者を募集、選定した。

- 条件
- ① 医療的ケア児の受け入れをすること
 - ② 空き施設となっている旧保育所にて事業を行うこと
 - ③ 令和6年4月1日より事業を開始すること



⇒ 訪問看護事業と相談支援事業所及び日中一時支援事業を運営されている、**株式会社ESPOIR様**を実施事業者として選定した。

放デイ0か所の町に放デイができるまで

- 01 自己紹介
- 02 はじめに
- 03 御浜町の課題は？目標は？
- 04 実現に向けて
- 05 おわりに**

05 おわりに

開所

県からの指定が下り、
令和6年4月に
放課後等デイサービスSOLEILが
開所を迎えた。



05 おわりに

不安 と 反響



利用者がいなかったらどうしよう

情報が公開されると、連日問い合わせがあった。

『町内にできる事業所を利用したい』

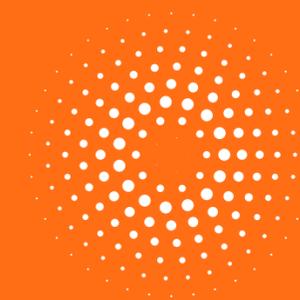
『どうやったら利用できるのか』 等

→ 潜在的ニーズがあると確信した。

放デイ、医療的ケア児について理解を得たい

上記を題材に、講演会を開催した。参加者は、子どもたちとコミュニケーションをとったり、「町内に医療的ケア児がいることを知らなかった」「何か手伝えることがあったら言ってほしい」と話され理解に一步前進した。

旧保育所の活用についても、またあの場所をこどもが使ってくれる、と喜ばれる方が多かった。



ご清聴
ありがとうございました